

みやぎGPN活動報告1017①



今回の内容

2023年度事業所見学会 西北プライウッド(株)合板工場



👉 三層や五層構造、ラミナの厚みが違うCLT。可能性は膨らみます。
👉 合板加工前処理として、丸太を蒸すプラントです。

👉 LVLの現物です。薄い板を同一方向に貼り合わせ構造材として使われます。👉 かつら向きされた薄い板が猛スピードで流れていきます。

👉 サネ(横方向に凸凹のある)24mm 28mmの合板です。ネタを跳ばすことが出来るそう👉👉 加工状況はモニターで一元監視されていました。



みやぎGPN活動報告1017②



今回の内容

2023年度事業所見学会 東北ボーリング(株)ZEB新社屋



2023年10月17日、みやぎグリーン購入ネットワーク主催「事業所見学会」を実施致しました。昼をまたいで午後の部は場所を仙台市荒井に移し、参加者半数程度が入れ替わっての、東北ボーリング株式会社木造「ZEB」新社屋の見学です。参加者をA,B二班に分け私は木造ZEBの見学からスタートしました。設計にあたった(有)ササキ設計の三浦様の後に続き、宮城県で初の木造ZEBについて、実際に屋根や2階床に使用されている事務所棟のCLTや、見通しを良くするために(無柱)採用した格子耐力壁、PH階小屋組に採用したレシプロカル格子組など現物を見ながら詳しい説明を受けました。個人的には6m飛ばしに仕付けられた見事な台風梁に目を見張りました。宮城県産材にこだわった社屋に加え、登米産材の家具、DLT (Dowel Laminated Timber) のベンチと木製品がいたるところに配備され、木の温もりが伝わる暖かいオフィスに気持ちまでポカポカになりました。「都市等における第2の森林づくり」としてカーボンニュートラルへの貢献が期待されている炭素固定として、この建築物に利用した木材が貯蔵している炭素(CO₂換算)量は91tにも及ぶそうです。

事務所棟見学の後、会議室に入りZEBについてスライドを使用し見えない部分の解説を受けました。見学した東北ボーリング(株)新社屋は、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した木造ZEBです。太陽光発電、リチウムイオン蓄電、地中熱ヒートポンプシステムについても詳しく学び、高断熱、高性能窓やサッシなど工夫を重ねた構造に、創エネと省エネを組み合わせ実現した正真正銘の木造ZEBを体感した見学となりました。



👉 二班に分かれ(有)佐々木設計三浦様と施工にあたった(株)サンホーム中村様と事務所棟の見学。
👉 地中熱ヒートポンプ

👉 猪股代表幹事の挨拶の後、会議室で説明を受ける参加者。
👉 地中熱ヒートポンプと並び井水ポンプ制御盤が並んでいます。

👉 事務所棟玄関左手に来客者に見えるかされた採熱管ヘッダー。
👉 事務所棟に設置されている太陽電池モジュール112枚(36.96kw)

